

ひこね 市議会だより

令和6年11月定例会
(11月25日～12月16日)

- 特集 子ども議会 …………… 2～5
- 11月定例会で決まったこと …… 6～9
- 個人質問 …………… 10～20
- 常任委員会視察 …………… 21～23
- お知らせ …………… 20・24



子ども議会を開催しました
令和6年11月16日(土)

第15回 子ども議会を開催しました。

彦根市の未来を担う子どもたちに、議員として質問や提案をすること
目的に子ども議会を開催しました。

第15回を迎えた今回は、市内17小学校の6年生24人が子ども議員と

を通じて、市議会や市の取組を身近に感じ、興味を持ってもらうことを
して参加しました。

8月1日(木)

事前研修会

事前研修会では、子ども議員選出書の交付を受け、子ども議員として第一歩を踏み出しました。
その後、市議会や市役所の仕事についての説明を受け、本番で行う質問の作成に励みました。



▲質問作成の方法の説明に熱心に聞き入る子ども議員のみなさん

教育委員会の先生方の指導の下、熱心に質問を作成する子ども議員



議場開放促進委員とともに市職員から直接説明を受ける子ども議員の姿も

議場への入退場時は必ず一礼をすることを学びました



11月9日(土)

リハーサル

実際に議場に入り、議長議事の進行に従い質問をする手順や議事の進め方を学びました。
初めての経験に緊張と戸惑いを見せながらも、本番に向けて練習を重ねました。

まずは子ども議長と議席番号が発表され、本番の流れの説明を受けました



議場開放促進委員と議会事務局職員に議事の進め方について説明を受ける子ども議長



▲議場開放促進委員のデモンストレーションを熱心に見つめる姿も

第1グループ

1番 金城小学校 浅野 まりさん
「たばな号の利用促進について」



2番 城南小学校 岩村 怜治さん
「ふくみつ公園に高学年用の遊具を作り、芝生を整備してほしい」



3番 稲枝東小学校 小原 恋さん
「彦根市バスを季節ごとに小中学校対象に1日100円で乗り放題にしては」



4番 佐和山小学校 日下部 玄篤さん
「すべての公園でドッチボールやサッカーのボールを使えるように」



5番 平田小学校 吉田 玖音さん
「彦根市で休日診察を対応している病院の受診時間を長くしてほしい」



6番 稲枝東小学校 大菅 悠介さん
「運動場をきれいに整備してほしい」



7番 佐和山小学校 山東 幸太郎さん
「通学路の安全を守るために」



8番 城南小学校 後藤 響太郎さん
「彦根に新幹線の駅を造ってほしい」



11月16日本番!

当日は、3つのグループにわかれて質問しました。事前研修会やリハーサルでの学びを生かして元気に質問する姿が見受けられました。なかには、市長や部長からの答弁を聞いたうえで、再質問を行う子ども議員もいて、実際の議会さながらの子ども議会となりました。

傍聴者の“声”

・日々の生活の困りごとをもとにした提案がなされていて素晴らしいかったです。

・子どもたちの質問に対して、できない事柄でも丁寧な答弁があり分かりやすかった。

・彦根市の現状を子どもの目線、市政の目線で知ることができた。

第3グループ

17番 若葉小学校 大菅 麻央さん
「体育館にクーラーを設置してほしい」



18番 旭森小学校 疋田 羽瑠さん
「大きな地震への備えの充実を」



19番 鳥居本小学校 飯田 大和さん
「彦根市は人口減少に対してどのような対策をとっているか」



20番 稲枝西小学校 大崎 花奈さん
「みんなが参加できるひなん訓練実施について」



第1グループ子ども議長
コルトン 恵里さん



第2グループ子ども議長
田辺 蓮美さん



第3グループ子ども議長
後藤 響太郎さん



21番 城北小学校 山口 愛加さん
「彦根駅の利用客を増やしてほしい」



22番 城西小学校 野瀬 悠成さん
「学習者用端末をより高性能に」



23番 城北小学校 桐畑 琉楓さん
「休日部活動の地域移行について」



24番 若葉小学校 田辺 蓮美さん
「図書館の利用を増やすことについて」



第2グループ

9番 河瀬小学校 中元 悠翔さん
「地球温暖化を止めるためにできること」



10番 亀山小学校 永江 広奈さん
「街路樹が整備された彦根市にするために」



11番 城陽小学校 藤岡 和恩さん
「居場所を見つけられるアプリの提供」



12番 稲枝北小学校 藤塚 琴葉さん
「快適な温水プールの設置について」



13番 高宮小学校 森 陽彩さん
「歩道橋設置について」



14番 城陽小学校 喜多 玲音菜さん
「スクールバスの導入について」



15番 城東小学校 片瀬 実優さん
「学校のプールに屋根をつけることについて」



16番 河瀬小学校 コルトン 恵里さん
「少子高齢化について」



子ども議員の“感想”

・どの子ども議員の提案も学校をよりよくしたい、彦根市をもっとよくしたい、有名にしたいという思いが伝わってくる提案でした。
・子ども議員を経験して、議会は意外と自分の生活に身近なものだと感じました。
・子ども議会で学んだ議論する大切さをこれからの話し合いに生かそうと思います。

子ども議員の“感想”

・子ども議会に出ることで、政治について興味をもつことができました。政治についてもっと知りたいです。
・私たちが提案したことが、いつか実現されるとうれしいなと思います。
・子ども議会に出て、議員の方がどのように会議をしているのかが分かりました。

11月定例会の結果

11月定例会の結果

原案のとおり 予算関係 7 件 条例関係 4 件
 可決・承認 その他の議案 1 件 意見書 3 件
 否決 意見書 1 件

11月定例会 議案の審議結果

会期：11月25日(月)～12月16日(月)

■ 全員賛成で可決等した議案等

項目	番号	件名
議案	82	専決処分につき承認を求めることについて(令和6年度(2024年度)彦根市一般会計補正予算(第6号))
	83	令和6年度(2024年度)彦根市一般会計補正予算(第7号)
	84	令和6年度(2024年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
	85	令和6年度(2024年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
	86	令和6年度(2024年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
	87	令和6年度(2024年度)彦根市水道事業会計補正予算(第1号)
	88	令和6年度(2024年度)彦根市下水道事業会計補正予算(第1号)
	89	彦根市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案
	90	彦根市医療費の助成に関する条例および彦根市子どもに係る医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案
	92	彦根市屋外広告物条例の一部を改正する条例案
93	ひこね市文化プラザおよびみずほ文化センターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	
意見書	5	北方領土問題の早期解決等を求める意見書案
	6	学校給食の安定供給に向けた国の支援を求める意見書案
	8	選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書案

■ 議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	28	損害賠償の額の決定について

11月定例会に提出された議案等の詳細については
 こちらから



◀ 議案一覧・議決結果 ▶



◀ 意見書・決議 ▶



■賛否が分かれた議案等

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件名	結果	中川 睦子	角井 英明	八橋 龍二	堀口 達也	北川 元氣	小川 隆史	辻 真理子	長崎 任男	伊藤 容子	黒澤 茂樹	疋田 菜穂子	和田 一繁	森田 充	戸崎 克司	小川 吉則	矢吹 安子	上杉 正敏	中野 正剛	馬場 和子	林 利幸	奥野 嘉己	森野 克彦	安澤 勝	野村 博雄	
議案	91	彦根市公園条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	7	企業・団体献金の全面禁止を求める意見書案	否決	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●

このような討論がありました

討論の対象議案 議案第91号 彦根市公園条例の一部を改正する条例案



国スポ・障スポのため整備が進むエリアは、図書館利用と合わせて市民の憩いの場として親しまれ、多くの方に利用されている。荒神山テニスコートも、手頃な料金で幅広い世代が楽しみ、市民スポーツを下支えしている。本来、公共施設は無料であるべきである。また、国スポ・障スポは市民がスポーツを楽しむ機会を増やすのが本来の目的である。にもかかわらず、身の丈に合わない計画の影響で、様々な改正や規制をしなければならず、利用に当たり逆に負担が増え、市民生活を圧迫する内容となっているため反対。

討論の対象議案 意見書案第5号 北方領土問題の早期解決等を求める意見書案
意見書案第7号 企業・団体献金の全面禁止を求める意見書案



意見書案第5号について、北方領土問題の解決には、歴史的経緯を踏まえた外交交渉が必要である。戦後処理自体が不公正だったため不公正な項目を精算して、1875年に日本が平和的に条約を結んだ際と同じく、樺太はロシアに、千島列島は国後・択捉だけでなく全島の返還を求めること、歯舞・色丹は北海道の一部であることから、緊急に中間的な条約で返還することを求めることを補足して賛成。

意見書案第7号について、一点目に、10月27日の総選挙では野党5党が企業・団体献金の禁止を掲げ、国民民主党も全ての党が合意すれば廃止すべきという立場を表明している。野党5党および国民民主党の獲得議席は自公を上回り、この結果は、裏金づくりやお金の力で政治がゆがめられることへの国民の怒りと、その解決を求める民意を示しているため。

二点目に、企業の献金は政策的見返りを求めたものであり企業の利益を優先する政治が続いている。これは国民主権という憲法の原則に反するため。

三点目に、企業・団体献金に依存している限り、政党が自前で政治活動資金を調達する力を育むことができず、前時代的な状態にとどまるため。上記3点のため賛成。

討論の対象議案 意見書案第5号 北方領土問題の早期解決等を求める意見書案



第二次世界大戦後、南樺太や千島列島は日本が放棄したものの、ソ連（現ロシア）との平和条約が未締結であるため、帰属が未確定とされている。現在、ロシアはウクライナ侵攻により国際的孤立が深まり、経済的にも厳しい状況にあり、この数年間が交渉を進める好機と考える。相手の善意に頼って北方4島返還のみを訴えるだけでは進展が見込めず、南樺太や千島列島全体を含む交渉と平和条約締結を目指した外交を政府に強く求めたい。地方議会として来年度以降、独自性のある充実した内容の意見書を作成することを求めた上で賛成。

一般会計補正予算の主な事業

特別史跡「彦根城跡」保存整備および維持管理事業 4,328万9千円

令和6年7月17日に崩落した米蔵水門石垣の復旧に必要な経費で、国庫支出金および市債をもって賄います。

(主な積算内容)	所要額	既決予算額	補正額
・設計等委託料	2,621万2千円	249万7千円	= 2,371万5千円
・調査等委託料	509万3千円	318万3千円	= 191万円
・工事監理委託料	2,822万6千円	2,115万7千円	= 706万9千円
・使用料及び賃借料	301万6千円	122万8千円	= 178万8千円
・工事請負費	1億9,581万7千円	1億8,776万5千円	= 805万2千円



▲崩落した米蔵水門石垣の様子

介護保険基盤整備事業 771万6千円

国の採択を受け、認知症高齢者グループホームが実施する非常用自家発電設備の導入に対し補助を行うために必要な経費で、全額国庫支出金をもって賄います。

(積算内容)	所要額	既決予算額	補正額
・公的介護施設等整備費補助金	771万6千円	0円	= 771万6千円



ひこにゃん商標管理事業 42万9千円

ひこにゃんブランドの海外展開を進めるに当たり中国における商標取得をするために必要となる経費です。

(積算内容)	所要額	既決予算額	補正額
・ひこにゃん商標管理業務委託料	564万3千円	521万4千円	= 42万9千円

予算常任委員会

全ての議案は原案のとおり可決

予算常任委員会は、12月6日(金)に委員会を開催し、7件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第82号、議案第83号、議案第84号、議案第85号、議案第86号、議案第87号、議案第88号

【主な質疑】

- 議案第83号に対して
 - Q 中学校の光熱水費588万9,000円増額の理由は。
 - A 電気料金の料金体系変更によるものであり、使用量の増加は特段ない。
 - Q 認知症高齢者グループホームの非常用発電機はどのような規模か。
 - A LPガスを燃料とした発電機で、連続100時間の運転が可能。
 - Q 万が一停電した際に全ての電力が賄えるのか。
 - A 利用者の共有スペースや必要最低限の設備(空調、冷蔵庫など)の電源を確保する設計となっている。
 - Q 彦根城跡の米蔵水門石垣の災害復旧事業について、補助率や市の負担軽減策は。

- A 災害復旧事業としての申請により、国庫補助率は70%であり、残り30%は起債で対応する。起債分のうち95%が交付税措置されるため、市の負担は極めて少ない見込みである。
- Q ごみ焼却場のクレーンや火格子の更新の具体的内容は。
- A クレーン用インバーター9台および付属品を約878万円で更新し、火格子101個を約3,818万円で購入する。
- Q 国道8号歩道整備事業に伴う消防水利整備事業について、補償内容と進行計画は。
- A 国から約607万5,000円の補償金が支払われ、解体撤去費や現存価値分が補償される。再設置は来年度前半の完了を目指して進行予定である。移設期間中の約6か月間、消防水利の空白期間が発生するが、工期の短縮に努める。

【結果】

- ・議案はいずれも原案の通り可決

市民産業建設常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会は、12月11日(水)に委員会を開催し、4件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第90号、議案第91号、議案第92号、議案第93号

【主な質疑】

- 議案第90号に対して
 - Q PMH(医療費助成)先行実施事業は市民にとってどのようなメリットがあるか。
 - A 現段階では、マイナ保険証を提示すれば受給券を提示しなくても、医療費助成を受けられるメリットがある。
- 議案第91号に対して
 - Q 利用料金を高くする混雑期とはいつか。
 - A 春の彦根城桜まつりの期間を混雑期と定める運用を考えている。
- 議案第92号に対して
 - Q 「社会的環境など様々な景観形成要因が変化していることからその対応を図るため」という説明の具体的な内容とは。
 - A 彦根市景観計画の改定と、世界遺産登録を進める際に、景観に資するものとして屋外広告物も関係してくるので社会的環

境という言葉を使った。

○議案第93号に対して

- Q これまでの指定管理者と同じところだが、新たな提案内容はあったのか。
- A アンケートに2次元コードを使用し、回答がしやすくなるような工夫をしたり、自主事業もアンケートや経験を踏まえて、より皆様に喜ばれるような提案をいただいた。

【主な討論】

○議案第91号に対して

- 反対 金亀公園を中心に整備が進むエリアは、市民にとって図書館と合わせた憩いの場として利用されている。彦根市で気軽に楽しめる場所や条件を市民目線で整えて行くことが市の魅力の1つでもある。今回の改正では、市民生活に少なからず影響があるため反対。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決



11月定例会個人質問

20人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

本会議では、事前申し込みによる手話通訳を実施しています。



ライブ・録画配信の視聴について

本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。
 また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。
 配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。(https://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/)
 11月定例会からは彦根市YouTubeチャンネルでも本会議映像をご視聴いただけます。



▲彦根市議会インターネット映像配信はこちら



▲彦根市YouTubeチャンネルはこちら

各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



長崎 任男議員

Q 西清崎の耕作放棄地の現状についての認識は

A 荒廃した農地が増大していると認識している



その他の質問

- ・限界集落はあるか
- ・住民の過半数が65歳以上で構成される地域は
- ・準限界集落数は
- ・限界集落（準限界集落）について危機感はあるか

Q 西清崎地区は限界集落化の不安やイノシシ等の獣害により耕作放棄地が増えていることを懸念し、集落で対策を話し合い、新ごみ処理施設誘致の公募に参加した。候補地決定後、新たに耕作を止めた農家があると聞いているが、市の認識は。

A 西清崎地区での耕作放棄地増加の要因は、農業従事者の高齢化、後継者不足、鳥獣被害である。農地の受け手が不足する状況下で、ほ場が未整備あるいは土地条件の悪い農地を中心に荒廃が進んでいると認識している。

Q 令和6年11月5日に彦根愛知犬上広域行政組合より方針転換が発表された。地域が取り残され限界集落化する可能性に対し、市はどのように考えているか。

A 広域行政組合からは、新ごみ処理施設の候補地として今日まで協力をいただき感謝していると聞いている。市としても地域から伺った意見は組合と情報共有していく。



▲新ごみ処理施設の候補地であった西清崎の土地



奥野 嘉己議員

Q 彦根城世界遺産登録に向け
方向性を問う

A 井伊家の特別な立場を推薦書
素案で言及する



その他の質問

- ・選挙ポスター掲示板の設置場所、設置方法の見直しについて
- ・原付向けひこにゃんナンバープレートについて

Q 世界遺産登録に関する費用総額はいくらか。

A 平成20年度から令和5年度までで、約1億317万円。

Q ユネスコの諮問機関イコモスから事前評価が公表され、当市は「一歩前進」と評価し、今後も彦根城の単独推薦に向けて活動するとの方針が示された一方、他城との連携によるシリアル推薦についての指摘を受けた。シリアル推薦^(※)についての考えは。

A イコモスから認められた価値のコンセプト「大名統治システム」の物証としての推薦手法にはシリアル推薦はそぐわず、彦根城単独推薦するのが望ましいと考えている。

Q 日本全体の統治のなかで、井伊家の位置づけが必要ではないのか。

A 井伊家の立場を説明することを推薦書素案で言及する。

※シリアル推薦とは、地理的につながっていない2つ以上の物件を、ひとつの世界遺産として推薦する方式のことです。



黒澤 茂樹議員

Q 稲枝駅西側地区の市街化区域
編入の見通しは

A 令和7年3月末には市街化区域
編入が実現できると考える



その他の質問

- ・金亀公園テニスコートの使用料の改正、金亀公園駐車場の有料化について
- ・農村下水道の公共下水道への接続について

Q 稲枝駅西側地区の市街化区域編入への現状と見通しは。

A 稲枝駅西側地区で整備を進めている市道芹橋彦富線と都市計画道路稲枝西口停車場線、県道愛知川彦根線に囲まれた約7haについては、市街化区域編入のため、滋賀県により区域区分の見直しが進められており、都市計画素案が公表され、11月2日にこれに対する公聴会が開催された。引き続き県により手続が進められ、令和7年2月に予定されている滋賀県都市計画審議会での議決を経て、順調に進めば令和7年3月末には当該地の市街化区域編入の都市計画決定がされる見込みである。

Q 令和7年3月末で確定ということで間違いないか。

A 県の素案も公表され、市街化区域編入はほぼ実現できると考えている。



▲稲枝西口停車場線の現状





野村 博雄議員

Q 市立病院の救急診療体制や満足度の向上、利用しやすい駐車場への取組は

A より患者さんに寄り添った対応ができるよう検討し取組を進める



その他の質問

- ・新成長産業育成と地場産業振興への取組について
- ・後援名義について
- ・雪対策について

Q 彦根市立病院の夜間・休日の救急診療体制は。

A 多職種の医療スタッフが当直対応し、適宜、専門各診療科の待機医師とも連携、地域医療連携体制の構築への取組も進める。

Q 利用者の満足度向上への取組は。

A 患者意見検討委員会や患者満足度調査の実施、接遇研修の取組等、満足度の向上に努め、また患者満足度調査で診察および会計の待ち時間に関する不満の声があり、今後改善を検討する。

Q 駐車場が大回りをしなくてはならないレイアウトとなっており改善できないか。

A 歩行者の安全性やロータリー内の車両通行の安全かつ円滑な流れの確保の観点から、やむを得ない構造であるが、今後標識の更新の際等に検討していきたい。



▲彦根市立病院の駐車場レイアウト



中野 正剛議員

Q 自転車用ヘルメット購入費に補助を出してはどうか

A 着用率向上のために購入補助について調査研究していく



その他の質問

- ・災害時の避難所受付にマイナンバーカードの利用を
- ・彦根城パーク・アンド・バスライドについて

Q 彦根市での自転車用ヘルメット着用率はどれくらいか。

A 最新の令和6年7月時点で滋賀県は11.1%で47都道府県中30位、彦根市の着用率も同様であると認識している。

Q 観光振興の観点からも彦根市での自転車用ヘルメットの着用率向上は必要ではないか。

A 自転車利用者のヘルメット着用率が向上し、自転車での移動が安全でしやすいまちという認識が広がれば、日本人だけではなく外国人の観光目的地として選ばれる可能性が高まるとともに自転車利用者も増えると考えている。こうした観点からも着用率が向上するよう取組を進めていく。

Q 自転車用ヘルメット購入に補助を出してはどうか。

A 県内でも購入費補助を行っている自治体があることは把握しているので、他市の動向を見極めながら効果的で実施可能な手法について調査研究していく。

自転車用ヘルメットの着用率トップ10
(都道府県別、2023年7月時点)

1	愛媛	59.9%	6	山梨	26.2%
2	大分	46.3%	7	佐賀	23.4%
3	群馬	43.8%	8	山口	21.5%
4	鳥取	30.9%	9	茨城	21.3%
5	三重	26.5%	10	石川	20.7%

全国平均 13.5%

▲都道府県別自転車用ヘルメットの着用率トップ10



堀口 達也議員

Q G I G Aスクール端末更新の
予算額は

A 端末更新に約5.6億円。
その他、総額約14億円



その他の質問

- ・緊急通報システムの条件緩和はできないか
- ・アクティブラーニング教室の効果の検証は
- ・e-スポーツの取組への展望は

Q G I G Aスクール端末更新の予算額は。

A 端末更新費用は児童生徒用と予備機の約1万台で約5.6億円。内、国庫補助金で約3.7億円、残り約1.9億円は市の一般財源。他に校務用端末、校務支援システム、授業支援ソフト、ネットワーク更新等が必要で総額約14億円。財源は市の一般財源を予定しリース導入で支出の平準化を検討中。

Q 学力向上や非認知能力の評価、方針は。

A I C T活用と学力の関係については、今後も検証が必要だが、全国学力学習状況調査結果からI C T活用率の高い学校は国語科「情報の扱い方に関する事項」の正答率が向上。また東中学校コンピュータ部ではマイクラフト活動を通じ、思考力やチームワークなど非認知能力が向上。課題設定・解決型の学習が重要であるため、今後も、I C Tやアクティブラーニング教室を活用し学力と非認知能力の向上を図る方針。



正田 菜穂子議員

Q 彦根市のジェネリック医薬品切替率、
特定健診受診率を向上させるには

A ジェネリック医薬品切替率は高いが
特定健診受診率は改善の余地がある



その他の質問

- ・教育現場の働き方改革について
- ・男性教員の育休取得について
- ・I C Tの活用について

Q 令和6年10月より始まった医薬品の自己負担の新たな仕組みとは。

A ジェネリック医薬品がある医薬品について、患者が希望して先発医薬品を処方された場合にジェネリック医薬品と先発医薬品との差額分については患者負担とする仕組みである。

Q ジェネリック医薬品への切替率は。

A 目標を80%以上としているところ、令和6年3月診療分で本市では80.3%であり、今後もこの水準を維持すべく取組を行っていく。

Q 本市における特定健診の受診率および特定健診で異常が出た際の医療機関受診率は。

A 特定健診受診率は目標を60%以上としており、令和5年度は43.3%と、過去最高だが目標には届いていない。また、医療機関受診率は令和5年度では31.1%と低く、これらの数値を向上させるべく取組を行っていく。



▲ご存知ですか？ジェネリック医薬品

個人質問



中川 睦子議員

Q 市立病院では退職者やMRIの導入で仕事量が増えているが人員の確保はできているか

A 所属部署の意見を聞き、人員配置等の調整を行い、確保はできている



その他の質問

- ・公共施設のあり方について
- ・ふれあいの館閉館後の扱いは
- ・12月6日「彦根市の財政説明会」について

Q 院内の配置基準は。

A 病院事業全体で615人と定められ、現在の正規職員は医師部門65人、看護部門368人、医療技術部門118人、事務部門47人で合計598人。

Q 退職者や機材の導入で仕事量が増えているが人員の確保は。

A 所属部署の意見を聞き、会計年度任用職員や派遣職員を採用し、MRI等の新たな医療機器の導入では、職員に過度の業務負担がないよう、業務量や時間外勤務の状況等を確認し、人員配置等の調整を行っており、人員の確保はできている。

Q 退職や中途退職者の人数と理由は。

A 育児休業等の退職は看護師25人、医療技術職6人、事務職3人。退職は看護師12人、医師・医療技術職各1人で、看護師等の退職理由は、結婚や子育て、親の介護が多い。

Q 職員が長く働ける環境にすべきでは。

A 今後はワーク・ライフ・バランスの推進と医療人材の確保と定着に努める。



▲彦根市立病院



角井 英明議員

Q 稲枝東幼稚園をなぜ閉園にするのか

A 10人未満は集団保育に適さないとの意見で決定



その他の質問

- ・ICT教育について
- ・新ごみ処理施設の処理方式について

Q 10人未満は集団保育に適さないという客観的な根拠があるのか。

A 客観的な根拠はないが、少人数だと集団生活のルール等が教えにくく、人間関係が固定化され友達を作る機会が減り、学校等の社会的な場面に適応しにくいということが公立園長会で話し合われ決定した。

Q 閉園について地域の声を聞いたか。

A 稲枝学区では、多くの世帯が保育所やこども園の利用を希望し、幼稚園希望が減っており、現在利用している保護者の声が最も参考になると考え、保護者に知らせた。

Q 令和5年の総合教育会議で稲枝学区の小学校統廃合が議論され、教育委員会等が決めるのではなく、地域の声を優先し慎重に検討することになったが、簡単に進めすぎでは。

A 地域の声として子育て世代の声を聞くことが一番と考えた。





和田 一繁議員

Q 彦根市俳遊館の施設に関して進展があったのか

A 俳遊館としては廃止の上、建物を残さない方向で検討を行っている



その他の質問

- ・彦根市観光案内所について
- ・京橋口駐車場前休憩場所について
- ・彦根城内の鐘の丸売店について



▲解体の方向で検討される俳遊館

Q 彦根市俳遊館の施設に関して進展があったのか。

A 施設の老朽化が激しく隣地への危険性も伴っていることから、早急に対処することが必要である。本市の厳しい財政状況の中、多額の投資を行うことは難しく、また投資分の費用回収が見込める施設ではないことから、俳遊館としては廃止の上、建物を残さない方向で検討を行っている。

Q 現在の彦根市俳遊館の建物の状態は。

A 彦根市俳遊館は、令和元年度の耐震診断の結果、耐震性に問題があることが明らかになり令和2年1月から閉鎖している。現在の建物の状態については、雨漏れによる腐朽やシロアリ等による木材の欠損等、建物内部の劣化が見られるほか、外装材の部分剥離も確認している。



辻 真理子議員

Q 市立病院MRI更新のクラウドファンディングの成果は

A 患者さんやその家族など、616件もの幅広い支援をいただいた



その他の質問

- ・公営企業の基準内繰入について

Q クラウドファンディングの目的は。

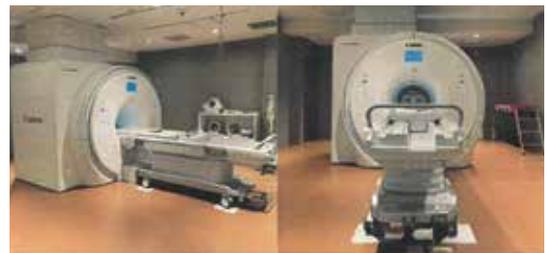
A 市立病院のMRI検査は件数が増加し、外来患者の予約が数か月先になる状況が続いていたため、令和6年度4月から新たな3.0テスラのMRIを追加配置し、現在は2台で稼働している。老朽化している1.5テスラのMRI更新を目的としたクラウドファンディングを実施した。

Q MRIの2台体制が必要か。

A 湖東地域の二次救急を担う役割を果たし、必要な検査ニーズに応えるため、MRI 3.0テスラと1.5テスラの2台体制が必要である。

Q どのような方がクラウドファンディングに協力されたのか。

A 患者さんやその家族、地域の企業、診療所、各団体の方など、616件もの幅広い支援をいただいた。心から御礼申し上げます。



▲MRI 3.0テスラ（彦根市立病院HP）



馬場 和子議員

Q 江戸時代の統治の仕組みを表す旧町名といわれを案内板に併記しては

A 旧外堀横の休憩スポット内に位置関係や旧町名を記した平面サインを設置



その他の質問

- ・防災にかかるフェーズフリーな考え方について
- ・美しいひこね創造事業の課題解決は
- ・彦根駅西口1階改札の必要性は
- ・猿被害への対策は

Q 立花船町線の護国神社前交差点南にある旧外堀横のポケットパークの整備内容は。

A 400平米の空き地に憩いの場を創出するため、広場全体の石張、旧城下町地区公共サイン、植栽、ベンチ5基を設置。また、休憩スポットのシンボルとなる、城下町の位置関係や旧町名を記した、城下町の様子を伝える、高さ40cmの外周がベンチとして使用可能な平面的な歴史サインを設置する。

Q 江戸時代の統治の仕組みを伝えるためにも、旧町名の併記といわれを記載してはどうか。

A 旧町名やそのいわれを記した説明板を城下町の要所に設置することは、城下町の歴史を知っていただくためにも意義がある。現在、旧城下町地区内に彦根市歴史的風致維持向上計画に基いた案内サイン15基を設置しているが、旧町名のいわれを案内サインに記載するまでには至っていない。今後、検討していく。



▲3月末完成予定のポケットパーク



小川 吉則議員

Q 災害時、旭森小学校の体育館は避難所として使用できるのか

A イエローゾーンにかかっており、避難所として使用できない



その他の質問

- ・認知症施策推進基本計画について
- ・パートナーシップ宣誓制度について

Q 地震、土砂災害、水害等の災害時に、指定避難所として旭森小学校の体育館は使用できるのか。

A 体育館は一部が土砂災害警戒区域に指定されており、「指定緊急避難場所」および「指定避難所」とともに原則使用できない。

Q 体育館が避難所として使用できない場合の対策はどうなるのか。

A 旭森学区においては地震が発生し、かつ避難が長期化した場合においては、指定避難所である旭森小学校では最大で880人程度の収容スペースが不足する可能性があり、その対策として、他の指定避難所に移ってもらうなどの調整を行う。

Q 市内避難所でのペットとの避難可能場所は、何か所あるのか。

A ペット用として定められた場所で飼育を行うという条件のもと、市内全ての避難場所および避難所においてペット同行避難が可能である。



▲旭森小学校体育館



北川 元気議員

Q 市民向け財政説明会の目的と期待する市民の反応は

A 財政状況の共有と市民の意見喚起に期待



その他の質問

- ・公共施設のあり方について
- ・新ごみ処理施設について
- ・がん検診について

Q 市民向け財政説明会を開催する目的と意義は何か。この説明会を通じて市が期待する市民の反応や意見は何か。

A 本市は過去の大型建設事業による巨額負債を抱え、自転車操業的な財政運営を強いられている。これまで市議会や広報ひこね等で財政状況を発信してきたが、市民との共通認識が十分に得られていない。この説明会は、市長自らが厳しい財政状況や中長期的見通しを説明し、市民と状況を共有する場である。これにより、市政への関心を高め、持続可能な行財政運営について市民が意見を考える契機となることを期待している。



▲彦根市の財政説明会



八橋 龍二議員

Q プロシードアリーナHIKONEの駐車場案内の対策や改善は

A Googleマップについては適切な案内がされるよう修正依頼した



その他の質問

- ・彦根市の滞納額の整理について
- ・強制徴収公債権(※)の徴収の一元化によるメリット、デメリットについて

Q プロシードアリーナHIKONEに車で来場される方への駐車場案内の対策や改善は。

A Googleマップについては適切な案内がされるように修正依頼した。カーナビについては各メーカーへの情報提供等を行っている一般社団法人日本デジタル道路地図協会に適切な案内ができないか相談し、改善に向け努力する。

Q プロシードアリーナHIKONEの2階観客席の安全対策は。

A 2階観客席の手すりは基準よりも高い80cmを確保しているが転落防止の注意喚起を促すポスターの掲示や放送を流すなどの対策をする。

Q バリアフリー対応の宿泊施設の確保は。

A 市内の施設だけでは賄いきれるものではなく、滋賀県内あるいは県外の広域に渡る調整が必要となる。



▲プロシードアリーナHIKONEのメインアリーナ

※強制徴収公債権とは、個別の法令の根拠規定により、市が滞納債権について地方税法の例による滞納処分(給与・預貯金・不動産等の差押えや担保権の実行等)を行える債権です。





伊藤 容子議員

Q 現ごみ処理施設のこれまで10年に要した修繕、長寿命化の費用は

A 修繕費は約23億2,600万円、長寿命化の費用は約34億8,100万円



その他の質問

- ・地域新電力について
- ・新ごみ処理施設の建設候補地について
- ・生ごみ減量化について
- ・学校教育の情報化推進について

Q 現ごみ処理施設の状況は。

A 現施設は、長寿命化改修工事を令和4～6年度に実施し、毎年定期整備工事も実施している。それ以外過去5年の主なものは、突発的に故障した誘引通風機、ガス冷却室の部品交換、激しく腐食が進んだ煙突の緊急修繕を実施した。今年度は1号炉について、長寿命化改修工事の範囲外での緊急修繕も実施した。今後は、新施設の供用開始時期を見据えて策定する長寿命化総合計画に基づき、現有施設を供用開始まで安定稼働させる考え。

Q これまでの10年に要した修繕、長寿命化の費用は。

A 平成26年度から令和5年度まで10年間に要した修繕費は約23億2,600万円、長寿命化改修工事の費用は、工事費、施工監理委託料、外部搬出費などを含め約34億8,100万円。



▲令和17年度下期までの稼働が必要とする方針決定が示された現ごみ処理施設（令和5年9月の工事の様子）



森野 克彦議員

Q 彦根市の中学生が「闇バイト」に勧誘されるような事案は生じていないか

A 市内の中学生が加担したり、巻き込まれたという報告は受けていない



その他の質問

- ・生徒指導担当教員について
- ・新学期ゆったりスタートについて
- ・保育園等に室内カメラを設置することについて

Q 彦根市の中学生が「闇バイト」に勧誘されるような事案は生じていないか。

A 市内の中学生が加担したり、巻き込まれたという報告は受けていない。

Q 彦根市の中学生が「闇バイト」に手を出さないように啓発活動は行っているか。

A 外部講師を招き、SNS利用における危険性について啓発するスマホ教室を市内中学校で開催したり、警察からの啓発チラシ「No!!闇バイト!!」を全児童生徒に配布し注意喚起と指導を行っている。また、警察庁プロジェクトチームによるイベントが開催された際には、参加した市内小中高200名以上に、特殊詐欺の実行役の逮捕者のうち7割が20代以下で、SNS上で高額報酬をうたう闇バイトで募集されていることを紹介し、参加した子どもたちや保護者に注意喚起が行われた。



戸崎 克司議員

Q 今後の特別史跡彦根城跡内のカワウ、シラサギの対策は

A テグス等の設置や拡声器を使用した対策は検討していきたい



その他の質問

- ・彦根城近郊のカワウ、シラサギの対策は
- ・彦根市のインバウンド集客、侍認定制度の効果は

Q 特別史跡彦根城跡内のカワウ、シラサギの対策として樹木せん定は。

A 令和6年2月にカワウ、シラサギのコロニー周辺となる、特別史跡彦根城跡の北側に位置する観音台と称する区域を中心に樹木せん定を行った。

Q 特別史跡彦根城跡内の樹木せん定後に行ったカワウ、シラサギの対策は。

A 陸上競技などで使用されるスターターピストルやホイッスル等を用いた、音響による追い払いを併せて実施した。

Q 西の丸三重櫓横の木造橋の修復工事を早めては。

A 木造橋の開通が彦根城周辺の観光動線の分散や、鳥類の生息環境に影響を及ぼす可能性についても十分認識しており、限られた予算の中で優先順位を慎重に見極めながら、出来る限り早期に事業着手できるように検討を重ねていきたい。



▲特別史跡彦根城跡内の城山にて、巣づくりをするシラサギの様子と巣の集まり(金亀公園より撮影)



安澤 勝議員

Q キラキラネームはどこまでを許容範囲と判断するのか

A 一般的に認められているかどうかを判断していく必要がある



その他の質問

- ・戸籍法改正を受けて市の対応は
- ・仮設トイレは快適に使用できるのか
- ・トイレトレーラー配備の検討をしてはどうか

Q 法務省は戸籍に記載できない読み方について、高を「ひくし」、太郎を「ジロウ」、「ジョージ」や「マイケル」として漢字と関連性がない等を例示している。

「漢字は音読み、訓読みが基本であり漢和辞典を調べれば一般的に認められていると判断できる。翔馬と書いて『ペガサス』、雪と書いて『アナ』等一般的に読めるかと言えば難しい。氏名に用いる文字の読み方として一般的に認められているものでなければならない。」と示されている。出生届が提出された際、職員の判断でどこまでを許容範囲と判断するのか。

A 令和7年5月26日までに国から基準が示される。社会に受容されまたは慣用されているかどうかという観点に加え、親の想いを聞き取るなどして、一般的に認められているかどうか判断していく必要がある。





森田 充議員

Q 彦根城世界遺産登録
事前評価制度結果の本市の受け止めは

A イコモスから前向きな評価を
頂き大きく前進



その他の質問

- ・国スポ・障スポまで1年を切ったが懸念事項はないのか
- ・地場産業などを活用した参加者へのおもてなしは

Q 彦根城世界遺産登録に向けての今後の方向性は。

A 今回「大名統治システム」を重要なOUV(※)の観点から認めて頂いた。「大名統治システム」を世界遺産登録のコンセプトとする限り、シリアル推薦ではなく、単独で彦根城の価値が証明できれば問題ないので、「大名統治システム」について彦根城でしっかりと説明できるように論理の構築を進めていく。これからも、気を抜くことなく推薦書素案を作成し、2025年度に国内推薦、そして2027年の世界遺産登録に向けて取り組む所存である。

Q 国スポ・障スポ開催時にPRすべきでは。

A 県内10数か所の会場での啓発ブースの出展やPR動画の放映等を予定。主会場の平和堂HATOスタジアムは彦根城が大変よく眺望できる場所であり、効果的なPRができると考える。

※OUVとは、「Outstanding Universal Value」の略で、「顕著な普遍的価値」と訳されます。



▲世界遺産登録を目指す彦根城

彦根市議会議員の議員定数および議員報酬のあり方に関する調査会を設置しました

彦根市議会では、「彦根市議会議員の議員定数および議員報酬のあり方に関する調査会」を設置しました。

この調査会は、彦根市議会の議会改革特別委員会において現在検討を進めている議員定数および議員報酬について、有識者の皆様から意見をいただくことを目的とするものです。本調査会は公開で開催しますので、傍聴を希望される場合は、当日、会場にお越しください。

これまでの調査会の開催概要

第1回	令和6年10月22日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱 ・市議会からの諮問 ・議員定数および議員報酬にかかる現状把握と課題整理
第2回	令和6年12月19日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・議員定数および議員報酬にかかる協議



▲議長から委員への委嘱状交付



▲議会改革特別委員長から座長への諮問書の交付

第3回以降の開催予定等については彦根市議会ホームページをご覧ください。



委員会による先進地視察を実施

福祉病院教育常任委員会

1 10月21日(月) 茨城県つくば市 ・子どもの貧困対策について ・市立小中、義務教育学校全50校での「校内フリースクール」開設について

つくば市は、SDGsの理念を基に、子どもの貧困を防ぐため「みんなの食堂」や「子どもの学習塾代助成金」などの支援事業を実施しており、これを支える「つくばこどもの青い羽根基金」は、市民への丁寧な説明で理解を深め、2023年度に過去最多の寄附を集めました。行政の丁寧な説明とすぐに結果を出そうとしない待ちの姿勢は見習うべき点であると感じました。

また、不登校児童生徒の支援として校内フリースクールを設置しており、通所施設の開設や相談支援、民間施設の利用助成など選択肢を広げています。先進的な取組を推し進めつつ、現在も学力向上や子どもの幸せな人生を支える方法を模索中とのことであり、本市においても、不登校対策については更なる議論が必要だと感じました。



2 10月22日(火) 東京都福生市 ・不登校特例校分教室(福生第一中学校7組)について



福生市では、不登校特例校分教室（福生第一中学校7組）を設置し、不登校生徒に社会的自立に向けた支援や進路支援を行っています。既存施設を効率的に活用し、個別支援や進路指導に注力する取組は、本市での不登校支援の課題解決や将来的な特例校設置の参考となりました。

3 10月23日(水) 東京都武蔵野市 ・障害者地域生活支援ステーション『わくらす武蔵野』について

武蔵野市の障害者支援施設『わくらす武蔵野』は、障害者の社会参加と自立を支援する地域拠点として、入所支援や日中活動支援を提供しています。地域全体との連携を重視し、豊かで自分らしい生活を送れる環境を整備していますが、物価高騰や人材確保の課題も抱えています。財政や土地の制約がある本市でも、こうした施設の実現に向けた議論と努力が求められます。



企画総務消防常任委員会

1 10月28日(月) 兵庫県神戸市 ・DXを活用した新しい行政のスタイルと価値の創出について



神戸市では、DXを活用し、市民サービスの質向上や職員の働きやすい環境づくりを推進しています。行政手続きの電子化やFAQ機能の充実などで市民利便性を高め、テレワークやペーパーレス化により効率化を図っています。また、数値化による効果測定で課題を可視化し、改善策を講じています。

一方、デジタル環境に不慣れな人への対応や窓口職員の働き方改革が課題として残っています。

市民満足度と職員の生産性向上を両立する取組が印象的でした。

2 10月29日(火) 徳島県鳴門市 ・フェーズフリーな考え方を導入した防災対策について

本市では、地震や線状降水帯など災害リスクが高まる中、市民の危険予知力や備えの意識が十分でないことが課題です。鳴門市では、平常時と災害時をつなぐ「フェーズフリー」の考え方を採用し、防災拠点の整備や教育現場での防災啓発、災害時にも日常的に利用できる施設運営を実践しています。このアプローチは市民サービス向上と財政負担軽減を両立させており、本市でも取り入れ可能な点を提案し、市民の命と暮らしを守る仕組み作りに役立てたいと考えます。



3 10月30日(水) 愛媛県西条市 ・西条市の移住施策について



本市では雇用の選択肢が限られ、若年層への施策や地域住民との交流が課題となっています。一方、西条市は移住促進策に注力しており、空き家バンクやリフォーム補助金などの住宅支援、仕事探しや起業支援、子育て環境の整備、移住体験ツアーなど多角的な取組を展開。さらに、地域住民との交流を通じて移住者が地域に溶け込める環境を整えています。本市でも西条市の事例を参考に、住宅支援や地域交流を活用し、移住者の定住促進を図る必要があると感じました。

市民産業建設常任委員会

1 10月28日(月) 埼玉県新座市 ・にいざビジネスサポートについて

新座市の「にいざビジネスサポート」は、中小企業や起業家支援を目的とした市直営の事業で、市役所内で中小企業診断士が無料かつ伴走型の経営相談を提供しています。補助金制度も充実しており、令和5年度にはIT導入や事業承継支援などで実績を上げ、相談件数も年々増加しています。

官から民が主流の中において、あえて直営にこだわることにより、限られた予算であってもきめ細かい対応ができ、最大限の効果が得られるという先進事例でした。



2 10月29日(火) 東京都調布市 ・映画のまち調布シネマフェスティバルについて



調布市は、「映画のまち」として長年にわたり映画産業を育み、市民参加型の映画祭「調布シネマフェスティバル」を成功させてきました。この映画祭は、市民が実行委員会を組織し、上映作品を人気投票で選出するなど、地域全体で映画文化を楽しむ仕組みが特徴です。また、映画制作体験や、世代を超えた参加型イベントを通じて、映画が市民生活に深く根付いています。

一方、本市には映画文化を象徴する仕掛けがまだまだ少なく、地域資源を活用した発信が課題です。まずは過去の撮影作品を活用した上映会やトークショーを実施し、映画文化の価値向上を目指すべきと考えます。

3 10月30日(水) 茨城県石岡市 ・農業法人による就農希望者の受入れと担い手づくり

石岡市の朝日里山ファームでは、新規就農者支援を目的に有機農業の研修農場を運営しています。研修生は夫婦単位で2年間有機野菜栽培を学び、独立後もNPO法人アグリやさから指導を受け、農業に必要な設備を貸与されるなど充実した支援が行われています。独立後も多くの若者が農業を継続しており、地域の農業振興に大きく寄与しています。

一方、本市では水稻中心の農業から転作が進む中、有機栽培の普及や後継者不足が課題です。視察を通じ、地域に根ざした農業支援体制の構築が急務であると感じました。



市議会では、議案などを専門的、能率的に審査するため、企画総務消防常任委員会、福祉病院教
れかの委員会の委員に選任されています。

各委員会では、効果的な審査が実施できるよう、それぞれに視察項目を定め、先進的に取り組ん
今後も、市政の発展と向上のため、調査研究に努め、活発な議論を行ってまいります。



育常任委員会、市民産業建設常任委員会の3つの常任委員会を設けており、24人の議員全員がい

でいる他の自治体を訪問し、調査研究を行っています。



彦根・愛知・犬上市町議会議長会議員研修会

○令和6年11月7日(木) 14:30~16:00

プロシードアリーナHIKONE 多目的ホールで開催された議員研修会に周辺4町（愛知郡愛荘町、犬上郡豊郷町、甲良町、多賀町）の議員とともに参加しました。

「笑って再発見！地元のいいところ」と題して、笑福亭笑助さんに講演いただきました。

講演では地元の魅力を再発見し、その魅力を最大限に生かして地域の発展に寄与するため、地域の特性や資源をどのように活用し、地域振興に結びつけるかについて考え方を学びました。再発見した魅力を基に具体的な政策の提案等を行い、地域のより良い姿を目指すための一助となりました。



彦根市YouTubeチャンネルでも彦根市議会本会議のライブ配信が始まりました

11月定例会より彦根市YouTubeチャンネルでの彦根市議会本会議のライブ配信および録画配信が始まりました。

下記URLもしくは右記QRコードよりご視聴いただけます。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PL0k4CV63IWWI2HuhxwJ81sm3wNnOE6glA>



ぜひ傍聴にお越しください。

いつでも簡易な手続きで傍聴ができますので是非お越しください。

議場・委員会室ともに彦根市役所本庁舎5階にあります。

議場は定員45人、委員会室は定員9人です。

本会議・委員会の傍聴の仕方

- ①議会課（本庁舎5階）で「傍聴人受付簿」に住所やお名前等をご記入ください。
- ②傍聴者用の議案書、アンケート用紙、名札を受け取り議場または委員会室へ
- ③お帰りの際、アンケートにご協力ください。

次の定例会は

2月21日開会です

2月定例会の日程（予定）

月 日	内 容	時 刻
2月21日(金)	開 会	9 : 30
3月 3日(月)	個人質問	
3月 4日(火)		
3月 5日(水)		
3月 7日(金)	予 算 常 任 委 員 会	
3月10日(月)		
3月12日(水)		
3月13日(木)	福祉病院教育常任委員会	
3月14日(金)	市民産業建設常任委員会	
3月17日(月)	企画総務消防常任委員会	
3月18日(火)	本 会 議	
3月24日(月)	閉 会	